

**問** 幼稚園での土曜預かり保育が4園から2園実施に統合された。職員が確保できないのが理由とされたが、子供の視点、保護者への配慮が足りない。町長、教育長の新たな方針が。

**教育長** 方針が変わりはないが、円滑な対応のためである。ご理解頂きたい。

**問** 平成28年3月定例会で、園を分けて保育を行うことはないかと答弁している。当初から、幼稚園教諭は不足している。採用を増やして不足を補う等、対策が必要だったのではないかと。

**教育部長** 人間が確保できない。ご理解頂きたい。

**問** 今後や次年度以降、預かり保育がなくなる、減る、そういうことがないか。

**教育部長** 正常な形で教育保育ができるよう整えたい。

**問** 一番大きな課題は職員の確保だ。有資格者の人手が足りない。過去の議会で指摘された幼稚園担任の正職員化は実現したのか。

**教育部長** 正職員化には至っていない。

**問** 現在、何クラス中何クラスが臨時職員の担任か。

**学校教育課長** 産休代替も含めて、21クラス中10人が臨時職員となっている。

**問** 正職員化すると議会でも答える、町民にも示す、なのに職員採用は控える。それではいつになったら達成するか。

**総務部長** あと何名で足りるということとは差し控えさせていただきます。



幼稚園の活動風景（じゃがいも植え）

南部水道企業団の問題はどうなった

**問** 縁故採用や給与飛び級などと新聞報道がなされ、多くの町民に不信を与えた。問題の原因究明や再発防止、そもそも詳細や責任の所在が明らかにされていない。町はどう考えるか。

**町長** 住民の皆さんに説明責任を果たせるよう指導をしていく。

**問** 適正な水道行政を考え、南部水道企業団からの離脱も含めた調査ができないか。

**副町長** 慎重に検討をする必要がある。

# 預かり保育をやめないで

答 維持すべきは維持していく。死守しないといけない



照屋 仁士 議員